

2026 年 1 月 15 日
泉佐野市

4自治体が共同主催 e スポーツイベント「スタパーク 2026」を開催

「^{ストリートファイター}STREET FIGHTER 6」で、大阪・北海道・神奈川・石川の都道府県域を超えた地域連携を創出



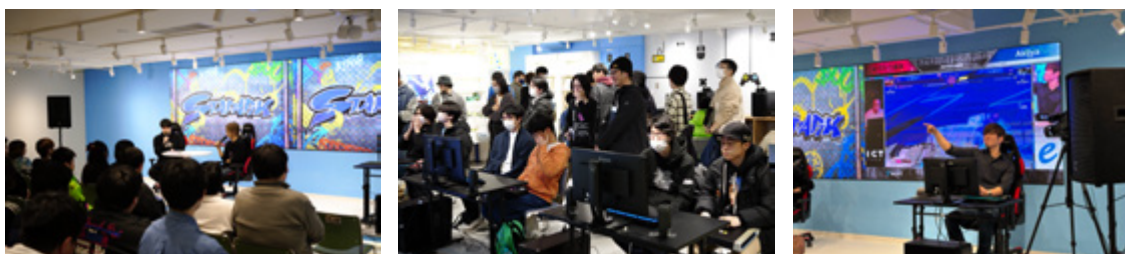
このたび、2026 年 2 月 22 日(日)に、大阪府泉佐野市をはじめとする 4 つの自治体が連携を取り、人気ゲームタイトル「STREET FIGHTER 6(ストリートファイター6)」を使用した e スポーツイベント「スタパーク 2026」を開催いたします。

本イベントは、2025 年 3 月に大阪府泉佐野市および北海道旭川市の 2 都市をつないで実施された初回開催に続く、第 2 回目の開催となります。前回も、オンラインを通じて両会場を結び、都道府県の垣根を超えた交流を実現し、およそ 1,050km という距離を感じさせない大きな盛り上がりを見せました。

このたびの「スタパーク 2026」開催では、新たな連携自治体として、神奈川県横須賀市および石川県羽咋市を迎え、4 自治体共催によるスケールアップした取り組みとして実施いたします。e スポーツの持つ特性である「距離を超えたつながりの実現」を最大限に活かし、多様な地域間交流と協働の新たな形を創出します。

イベント当日は全 4 会場をオンラインで接続し、各会場にプロ e スポーツ選手や人気インフルエンサーをゲストに迎え、『地域交流座談会』のほか、各会場のプレイヤーが地域の名を背負って競い合う『地域代表対抗戦』を実施。加えて、各開催地の特色を活かした独自『オフライン企画』も実施いたします。これら 3 つのコンテンツを通じて、e スポーツを核とした新たな地域間交流の促進を図るとともに、開催地域への愛着や誇りを育むことを目指し開催します。

各会場のイベント情報につきましては、各自治体の案内をご確認ください。



2025 年 3 月開催 (左)ゲスト交流の様子、(中央)オフライン企画、(右)北海道旭川市とのオンライン対戦の様子

「スタパーク 2026」泉佐野会場 イベント概要

(1)開 催 日 2026 年 2 月 22 日(日) 12:00～

(2)開 催 場 所 e スタジアム泉佐野（大阪府泉佐野市りんくう往来北 2 階 りんくうタウン駅構内）

(3)イベント内容

①地域代表対抗戦(各会場共通)

各会場より選出された代表者 5 人で対戦する団体戦を実施予定です。4 チームでのトーナメント戦で、各試合は BO3 形式(3 試合中 2 本先取した方の勝利)で行われます。地域の隔たりを超えた熱戦が繰り広げられます。

【チームメンバー枠 / レート制限】※各自治体により異なる場合がございます。

先鋒:U-18 枠 / 無制限

次鋒:女性枠 / 無制限

中堅:一般枠 / MR1500 未満

副将:一般枠 / 無制限

大将:プロ選手

②地域交流座談会(各会場共通)

全会場をオンラインでつなぎ、地域間の交流を深める「地域交流座談会」を同時開催します。

各開催地の豪華ゲストによるトークや参加者の質問にゲストがその場で答える Q&A コーナーなどを予定しております。ゲストとのトークを通じて、会場・地域を横断した交流をお楽しみいただけます。

③オフライン企画(各会場別企画)※各自治体により異なります。

e スタジアム泉佐野では各会場共通の企画が終了次第、オフライン対戦会を開催いたします。

参加者同士の対戦はもちろん、プロや著名な方々と対戦できる機会もあるかもしれません。

施設備品のコントローラーには数に限りがございますので、可能な限りご自身のデバイスをお持ち込みいただきますようお願いいたします。

(4)参 加 費 無料(事前申込制)

(5)申 込 方 法 順次申込受付を開始いたします。下記スタジアム泉佐野 X アカウントにて情報発信いたしますので、こちらをご確認ください。

URL: https://x.com/e_stadium_sano

(6)お問い合わせ e スタジアム株式会社 イベント総合お問い合わせフォーム

URL: <https://forms.gle/Gy4mWZ1VZE1coY559>

※内容は変更となる場合がございます。予めご了承ください。

「スタパーク 2026」泉佐野会場 ゲスト詳細



Crazy Racoon/どぐら (https://x.com/maneater_dgr)

複数の格闘ゲームタイトルで第一線を走り続けてきた実力派プレイヤー。
数々の格闘ゲームで強豪として名を馳せてきた経験を持ち、
現在は『ストリートファイター』シリーズにおいて現役のプロ選手として活躍している。
YouTuber・ストリーマーとしての発信力にも定評があり、競技シーンの最前線で培った知見を、
ウィットに富んだ表現でわかりやすく伝えるスタイルで多くの支持を集めている。
勝負に対する真摯な姿勢と、場の空気を和ませる高いトーク力を併せ持つ、
競技とエンターテインメントの両軸から格闘ゲームシーンを牽引する、界限屈指の存在である。

まめスパイダー (<https://x.com/kanamamespider>)

カプコンの格闘ゲームタイトルを中心に強豪プレイヤーとして活躍し、
競技シーンと配信・映像制作の双方に深く関わってきたクリエイター。
現在はどぐら選手の YouTube チャンネルにおいて動画制作を担い、
YouTuber・ストリーマーとしての活動を裏側から支えており、
制作面ではプレイヤーとしての経験に裏打ちされた高い解像度と着眼点を活かした編集で、
高い評価を受けている。
コメント欄では「まめスパいつもありがとう」と自然と声が上がるなど、
ファンからの信頼と親しみを集める。

共催自治体におけるeスポーツに関する取り組みについて

北海道旭川市(<https://www.city.asahikawa.hokkaido.jp/>)

旭川市では、北海道最大のeスポーツ施設「ICT パーク」を拠点としたeスポーツ事業を推進しています。同施設は市内教育機関の活動やコミュニティ形成の場としても活用されており、地域一体となって普及啓発と人材育成に努めています。近年は、広域的なeスポーツ事業や産学官連携によるゲーム制作を通じたデジタル人材育成の取り組みを強化し、それらを活用した社会課題解決を目指しています。

石川県羽咋市(<https://www.city.hakui.lg.jp/index.html>)

羽咋市は、2024 年にオープンした交流拠点「LAKUNA(ラクナ)はくい」を軸に、eスポーツを地域文化として定着させる「羽咋eスポーツシティプロジェクト」を推進しています。施設内の専用スタジオでは、プロによる若年層向けのコーチングや、北陸最大級の大会を開催。さらに、高齢者の健康増進や運営人材の育成も行い、多世代交流と賑わい創出を目指す先進的な取り組みが注目されています。

神奈川県横須賀市(<https://www.cocoyoko.net/e-sports/>)

横須賀市は「eスポーツの聖地」を目指し、2019 年から「Yokosuka e-Sports Project」を展開しています。その取り組みの一環として、市内高校へゲーミング PC を無償貸与し、eスポーツ部の活動を支援しています。また、全国規模の高校生大会開催、プロチームの拠点誘致や産学民官連携のパートナー制度など、若年層を核とした地域活性化と文化定着をスピーディーかつフレキシブルに推進しています。

泉佐野市(<http://www.city.izumisano.lg.jp/>)

泉佐野市は「eスポーツ先進都市」を掲げ、「eスポーツ MICE コンテンツ実証事業」を推進しています。玄関口であるりんくうタウン駅には、「e スタジアム泉佐野」を構え、施設を拠点に地域交流 e スポーツイベントや、小中学生向けの職業体験型イベントを開催しています。e スポーツを単なるエンターテインメントに留まらない「人材育成」と「観光振興(MICE)」を融合させた独自のモデルを構築しています。

本件に関する報道機関の問い合わせ先

泉佐野市 成長戦略室 おもてなし課 担当:井尻・濱出

Tel:072-447-8126/ E-mail: omotenashi@city.izumisano.lg.jp